

葵製作所は先月、Webで架台フレームのセミナーが可能な発注システムに続き、ホームページ（HP）で事前予約し、オンラインでミーティングができるシステム「Aoi Online」を新設した。

自分たちで発信する道探る

さかのぼること約半年前。新型コロナ禍でなかなか従来の展示会がないところ、東京都の中小企業で構成する団体が7月にインターネット上で開催した、Web会議サービス「ZOOM」を活用したオンライン展示会にブースを出した。それまで数年、外部と接点

葵製作所① オンラインミーティングの専用システム

を持つことに重きを置かんだ。

展示会を主導した。

ムを設けるなど、エンは次のステージへと進んだ。

「どう表現して、葵製作所を知っていたか」と長谷川。自身が認めた経営理念の後段には「お客さまの想いに寄り添い、お客さまと一緒にやっていくこと

で、お互いになくはない信頼し合える関係を築いていく」と綴られる。

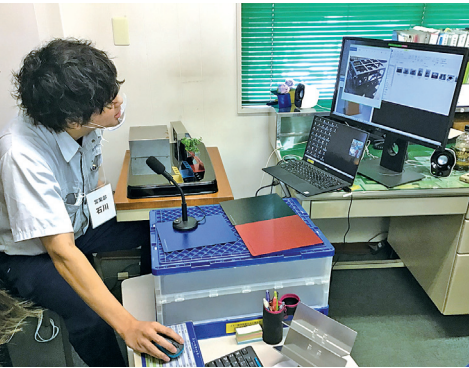
く中で「一歩踏み出すことで、うちの強みがきかない?」「いや、たのかわ。」「うちは板金づくりに努めた。分かった」(社長の長谷川の直球な言葉に、谷川薫)。社内でサポートを呼びかけたところ、営業部に所属する入社5年目の石川義が即答を受けてくれた。やることにすべてが手探りながらアすれば、自分たちだら、皆が対面にも受け取らない心配をすしれない。石川もま

バーチャルでも顧客との「相互性」重視

たモニターを挟んでプ

石川たちは会社案内の作成に動き出している。実践を通じて社員の自主性を尊重する風土が育まれ、新たな商機の足がかりへとつながっていく。(敬称略)

誰に声を掛けるのか 9月半ば。展示会の当日は1社ずつオンラインでコミュニケーションを図り、「相互性」を大切にを言葉に、溶接や精密板金の加工が使用した動画の共有した。「結構反響もあって、うまくいっ



単独で開催したオンライン展示会。若手社員が主導した

石川をはじめ総勢4人のプロジェクトを温めていたメールマガジンでの告知に踏み切った。希望の時間を間に合わせ、石川たちプロジェクトの打ち合わせに

(中野裕介)

